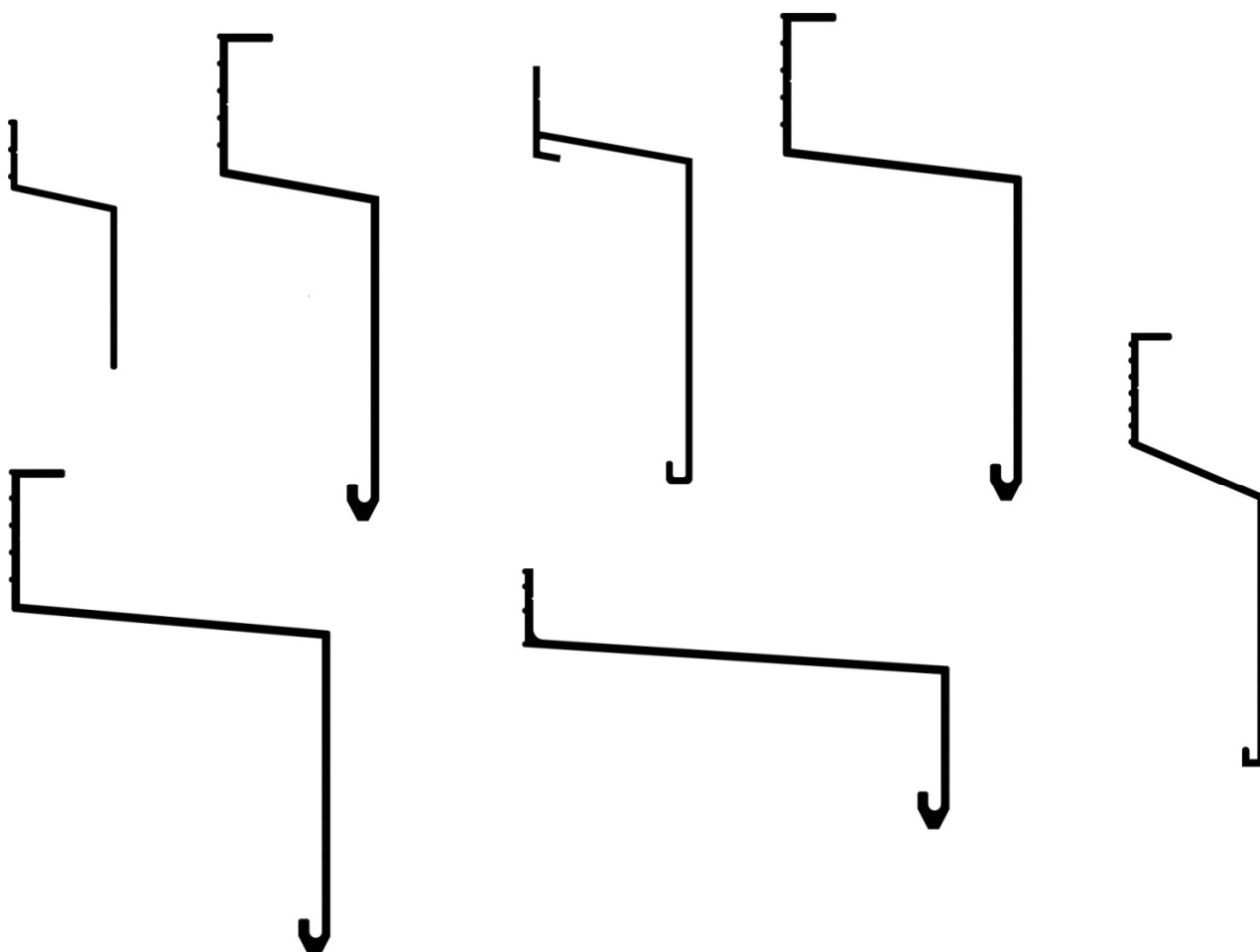


アルミ水切（防水端末保護） 施工手順書

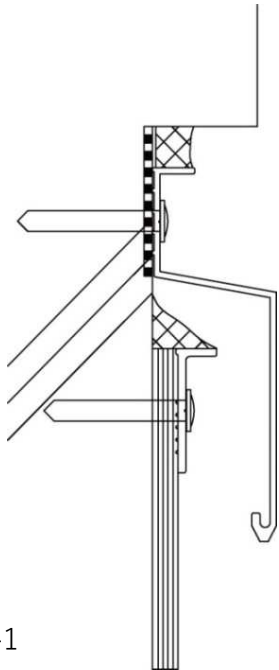
OHシリーズ

Ver4.2024.09



アルミ水切(防水端末保護用)施工の事前打ち合わせの注意点

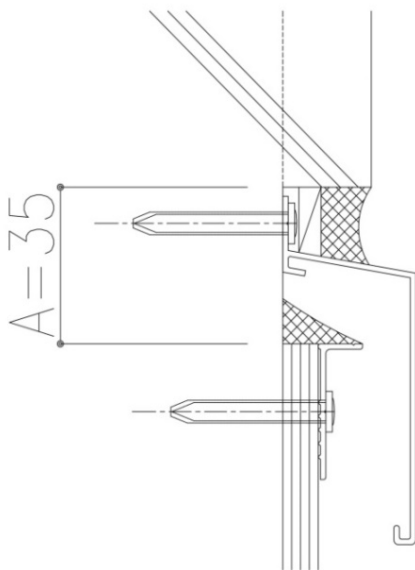
(1) 水切取り付け面の調整



■■■■ で示した水切の取付け面は
平滑に仕上げてあることを確認してください。
平滑でない場合は現場にてモルタル仕上げしてもらおう。

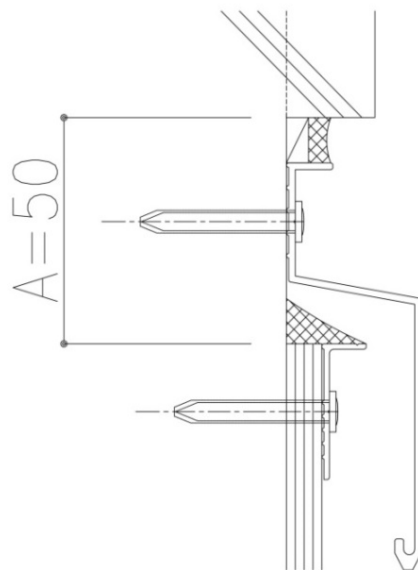
図1-1

(2) 防水端部の位置確認



Fタイプ

図1-2 OH-30F (A寸法=35)



Kタイプ

図1-3 OH-30K (A寸法=50)

- ・水切の納まりはFタイプとKタイプがある為、A寸法は水切の形状に合わせてください。
- ・又、A寸法が大きくなるように注意してください。

アルミ水切(防水端末保護用)施工の事前打ち合わせの注意点

(3) 面取り位置の確認※アスファルト防水の場合は必須

アスファルト防水のコーナー部は面取りをするので(図2-1参照)、水切取り付け部を図2-2のように水切の取付け面を前頁A寸法分確保してもらう必要があります。事前打ち合わせで確認しておくポイントです。

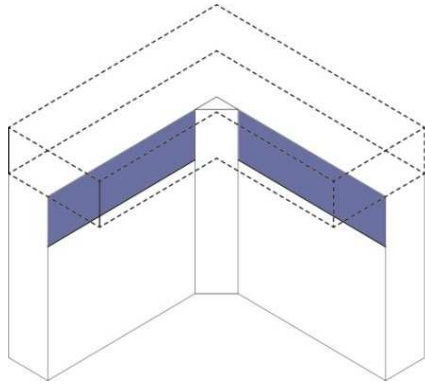


図2-1

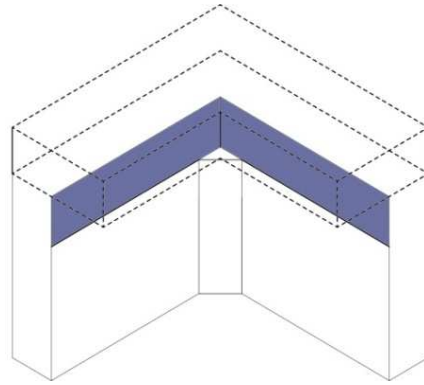


図2-2

(4) アゴ (欠込み) がない場合の納まり

- ・改修工事等でどうしても振動音や粉塵が出せず、研り込みが出来ない部分に水切を取り付ける場合は、設計者や施工会社と協議してください。

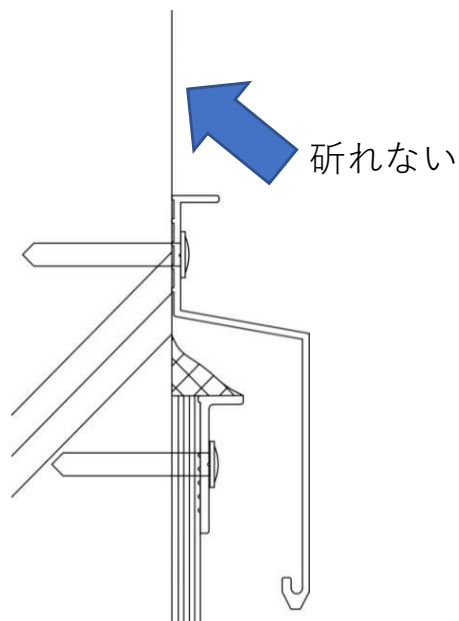


図2-3

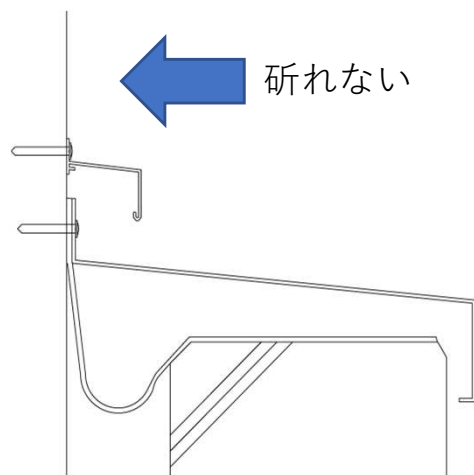


図2-4

アルミ水切取付時の注意点

(1) 取り付けは必ずコーナー部からおこなってください。

(2) 固定方法

下地材	アンカー用下地穴		白水興産 推奨アンカー
	径	深さ	
コンクリート	5.0	40	N5×35
ALC	6.0	40	B-F6

※ALCの削孔は穴径が大きくなるため、ハンマードリルを使用しないでください。
下穴が大きくなるとアンカー耐力が低下します。

※ジョイントは熱膨張などの変形を考慮して隙間を5mm以上あけてください。

(3) 固定間隔(ピッチ) 本体定尺L=2000

		@300以内	@350以内	@400以内	@450以内
1本あたりの 穴数	端部30	8穴(@278)	7穴(@324)	6穴(@388)	6穴(@388)
	端部50	8穴(@272)	7穴(@317)	6穴(@380)	6穴(@380)
	端部100	7穴(@300)	7穴(@300)	6穴(@360)	5穴(@450)

※当社の標準寸法は端部50mm、間隔380mmとします。

※固定間隔は現場管理者に確認してください。

風圧の影響が大きい場合は、強度計算による固定間隔とします。

※()内の寸法は、均等とした場合の実質ピッチ

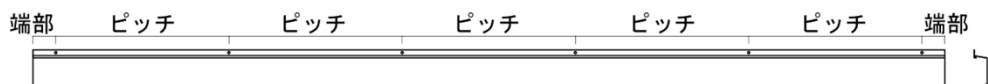


図3-1

(4) その他

- ・コーナー材は、金属専用の接着剤を使用し接着で組み立てます。
- ・エンドキャップは、製品を取り付ける立ち位置から見た「右」と「左」があります。
- ・エンドキャップはビスNB-01(4×16ドリルねじ)で取り付けすることを推奨します。

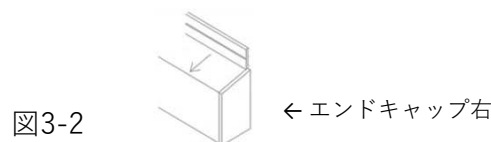
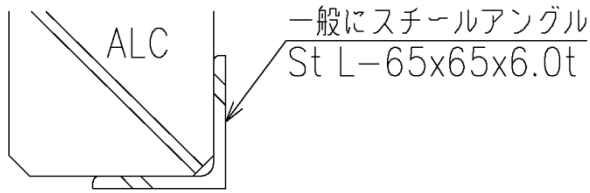


図3-2

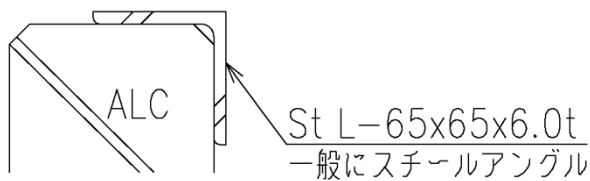
注意事項

- ・下穴の削孔後は清掃を行い切粉を除去してください。
- ・ねじ類はステンレス製をお勧めします。
- ・樹脂プラグとねじが一体でないものは、樹脂プラグを下地材に打込んだ後、ねじを締め込んでください。

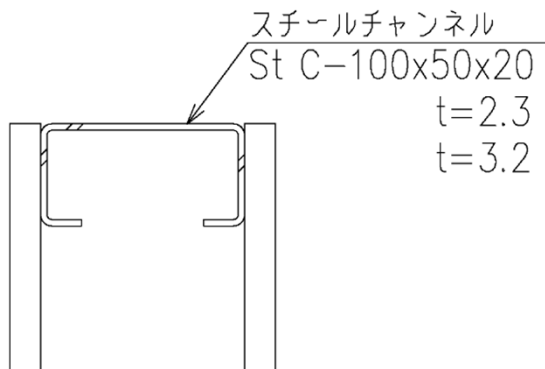
下地がスチールの時の取付ねじの選定について



※t=6mmスチールアングルに下端笠木、天端笠木を取り付ける場合NB-19(ヘックス六角ドリルねじ 6×35ユニクロ)を使用する。

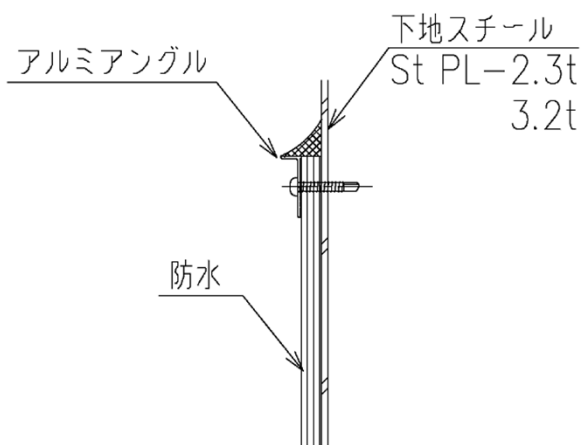


※ユニクロにする理由はt=6mmスチールアングルに対しては負けてしまうのでユニクロ(鉄)ビスを使用する。



スチールチャンネルt=2.3、3.2の場合
笠木取付の時

- ・ B-540H SUSテックドリルねじ(六角)使用
- ・ B-535 SUSテックドリルねじ(なべ)使用



アングルをスチール下地t=2.3、3.2に
取付ける場合

- ・ B-535 SUSテックドリルねじ(なべ)使用

※下地スチールがt=3.2を超える時はユニクロ(鉄)ビスを推奨